

こころん だより

2025
夏号
Vol.33



こころん



安芸市津波避難タワー2号の屋上に集まった防災会メンバー



防災劇の様子



安芸市総合防災訓練の事前準備(県立安芸中・高等学校)



発電機の訓練の様子

女性の視点を積極的に取り入れ地域防災に取り組む「安芸市川向地区防災会」の活動を、特集2でご紹介！
☞詳しくはP4-5をご覧ください。

特集1

誰もが尊重され、活躍できる高知県へ

～男女共同参画に関する2つの調査結果より～

特集2

こころん
レポート

みんなが安心できる避難所運営を

～安芸市川向地区防災会の取組から～

誰もが尊重され、活躍できる高知県へ ～男女共同参画に関する2つの調査結果より～

■ 文：高知県 子ども・福祉政策部 人権・男女共同参画課

男女共同参画社会に関する 県民意識調査について

高知県では、男女共同参画社会の実現を目指して、「高知県男女共同参画づくり条例」や「こうち男女共同参画プラン」に基づき、幅広い分野にわたる取組を進めています。その基礎資料を得ることを目的に5年ごとに実施しているのが、「男女共同参画社会に関する県民意識調査」です。

ここでは、令和6年8月から9月に実施した、最新の調査(※1)の一部をご紹介します。

※1：県内全域から18歳以上の県民2,000人を無作為に抽出し、郵送回収とインターネット回答の併用で実施。有効回収率は36.4%。

男女共同参画への 県民の意識の変化は？

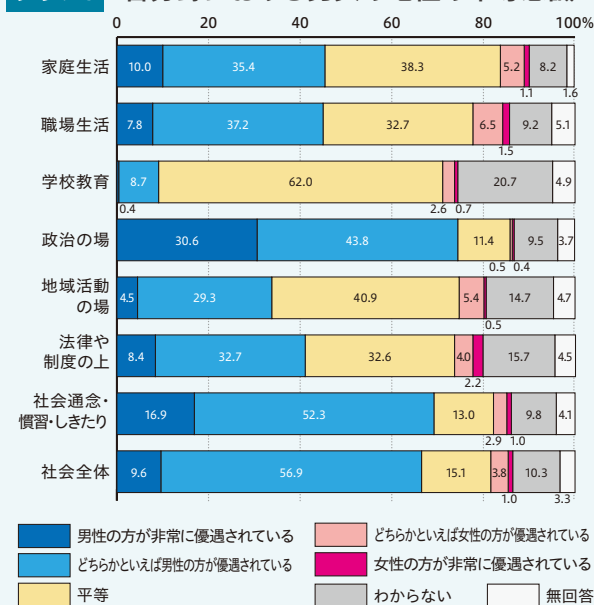
「各分野における男女の地位の平等意識」について尋ねた結果、家庭生活、学校教育、地域活動の場といった分野では「平等」と答えた方の割合が多くなっていますが、職場生活、政治の場、法律や制度の上、社会通念・慣習・しきたり、社会全体の分野では「平等」と答えた方の割合が低くなっています。

前回調査と比較すると、家庭生活においては平等意識が徐々に高まっているものの、職場生活や政治の場など、その他の分野においてはまだまだ「男性優遇」と感じている方の割合が多く、全体的な男女平等意識は低調であることがわかりました。(グラフ1)

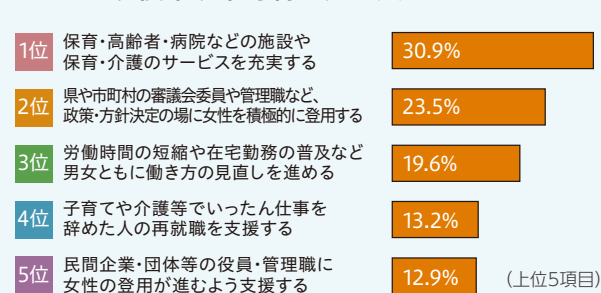
行政に求められていることは？

また、「男女共同参画社会を形成していくために、今後県や市町村が力を入れていくべきこと」について尋ねた結果、「保育・高齢者・病院などの施設や保育・介護のサービスを充実する」「県や市町村の審議会委員や管理職など、政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する」の回答の割合が高く、求められている施策であることがわかりました。(グラフ2)

グラフ1 各分野における男女の地位の平等意識



グラフ2 「男女共同参画社会」を形成していくために、
今後県や市町村が力を入れていくべきこと



高知県女性活躍推進調査 について

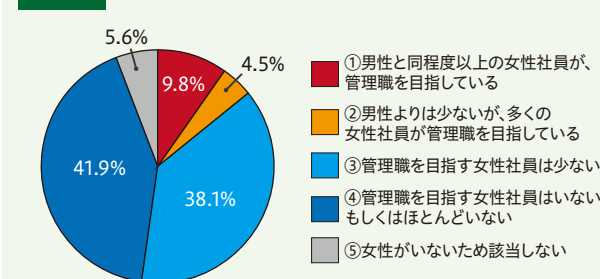
高知県は、女性の管理職の割合が4人に1人と、全国よりも高い水準にあるものの、その多くは医療・福祉分野で、業種に偏りがみられます。県内企業を対象に女性の管理職登用の現状と課題を把握するため実施した調査(※2)からは、2つのことが見えてきました。

※2：令和7年1月から2月にアンケート調査を実施。従業員5～99名の企業：552社、100名以上の企業：83社、就労者1200名が回答

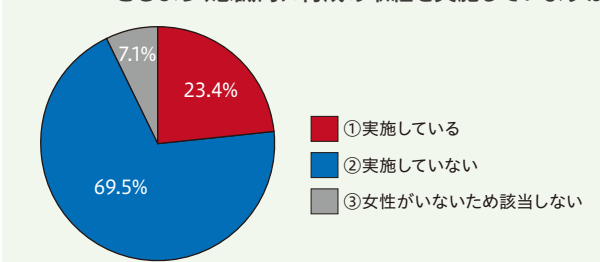
管理職登用において企業の 認識と現状にはギャップがある

多くの企業は、「管理職に求める能力に男女差はない」とするも、実際には女性管理職の割合が10%未満の企業は、従業員数100人未満の企業で約半数にのぼります。その理由として企業は「管理職を目指す女性が少ない」をあげていますが、積極的な昇進支援や育成プログラムが十分でない現状も見えてきました。(グラフ3、4)

グラフ3 女性社員で管理職を目指す人はどの程度いますか



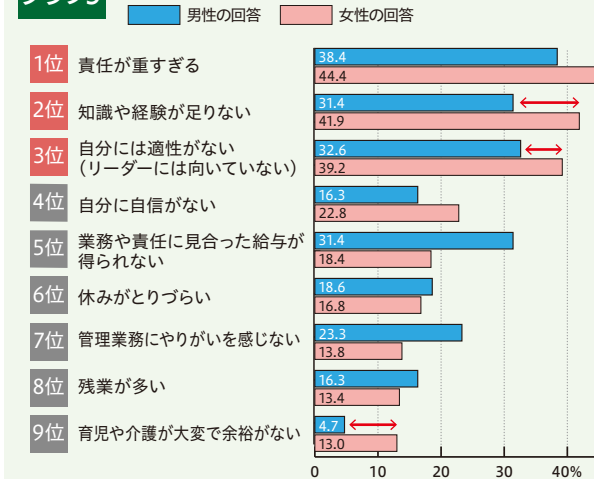
グラフ4 女性が管理職あるいは職場のリーダーとして活躍できるよう、意識的に育成の取組を実施していますか



就労者が管理職を忌避する 理由には男女に違いがある

また、「管理職になりたくない」「どちらかといえばなりたくない」と答えた人は全体の72%で、男女ともに「責任が重すぎる」「知識や経験が足りない」「自分には適正がない」が理由の上位を占めますが、「知識や経験が足りない」「自分には適正がない」「育児や介護が大変で余裕がない」という回答は女性に多くみられました。(グラフ5)

グラフ5 管理職になりたくない理由は何ですか？



調査結果は、次期計画に反映 誰もが輝ける社会の実現に向けて

多様な人材の活躍が社会全体の課題とされる今、女性が職場や社会の「意思決定」に関わることは、一人ひとりの声大切にされる社会の実現につながります。高知県に暮らすすべての人が、性別に関わりなく、一人の人間として尊重され、個性と能力を発揮できる社会の実現に向け、行政、企業、県民一体となった取組が求められています。

高知県では、これらの調査結果を踏まえ、学識経験者や関係機関で構成する「こうち男女共同参画会議」やパブリックコメントなどでご意見をいただき、今年度、次期「こうち男女共同参画プラン(令和8年度～令和12年度)」の改定を行う予定です。

📍 調査についてはこちら

「男女共同参画社会に関する県民意識調査」について




「女性活躍推進調査」について



▶ この記事に関するお問合せ先

高知県 子ども・福祉政策部 人権・男女共同参画課

TEL:088-823-9651 メール:060901@ken.pref.kochi.lg.jp



特集2
**こころん
レポート**

お話してくれた人 ▶
安芸市川向地区防災会
(左から)
事務局 仙頭 ゆかりさん
会長 刈谷 誠さん
防災劇脚本家 島本 昌子さん

みんなが安心できる避難所運営を

～ 安芸市川向地区防災会の取組から ～



大規模災害発生時、一次避難所においては「自助」や「共助」による運営が想定されています。その際に不可欠なのが、**人権への配慮**です。女性や子ども、高齢者、障害者など多様な住民への対応や心配りについて、様々な手法で啓発活動を行う安芸市川向地区防災会の皆さんに、お話を聞きました。



防災劇のワンシーン。高齢者や赤ちゃんを抱いた母親など、様々な避難住民を防災会のメンバーが演じる。



安芸市総合防災訓練に向け、ロープワークを学ぶ県立安芸中・高等学校の生徒たち。



津波避難タワーで、簡易トイレを体験する地域の住民。

地域の防災に、女性の声を

川向地区防災会は2005年に立ち上がり、今年で20年目を迎えます。当初は町内会の中で防災に取り組もうとしたのですが、町内会に加入しない世帯も増え、それではいざという時に困ると考え、年会費100円の独立した組織にしました。現在、約70世帯が加入しています。

特徴は、役員22名のうち12名が女性という点です。立ち上げ当時は、「防災は行政のすること」「防災は男性の役割」というイメージが私たち自身にもありました。しかし、2007年に広島で開催された「日本女性会議」で阪神・淡路大震災で起きていた被災女性への性暴力について話を聞き、女性が声を上げていくことの必要性を再認識。そこから会の規約を変え、女性の参画を増やしていきました。

多様な住民、必要な配慮・・・ 防災劇を通じて伝える

女性は、日々の暮らしの中で子育てや介護に関わる割合が高く、乳幼児、高齢の方、病気や障害のある方など、多様な方に接した経験を持つ人も少なくありません。そういう女性の視点を活かした活動の一つが、防災劇です。

例えば、「If あなたならどうする？ 避難所にて」と題した演目では、乳児を連れた母親、聴覚障害のある人、ペット連れの人が、様々な人物が登場します。地域にはいろいろな住民がいることに気づき、その人たちが避難所生活を送る上でどういう配慮が必要なのか考えてもらうことがその目的です。実はこの劇、防災訓練のマネリ化対策で一回だけやろうと女性が発案。「一回かぎり座」と名付けましたが、わかりやすいと好評で、公演はもう30回を超えています。

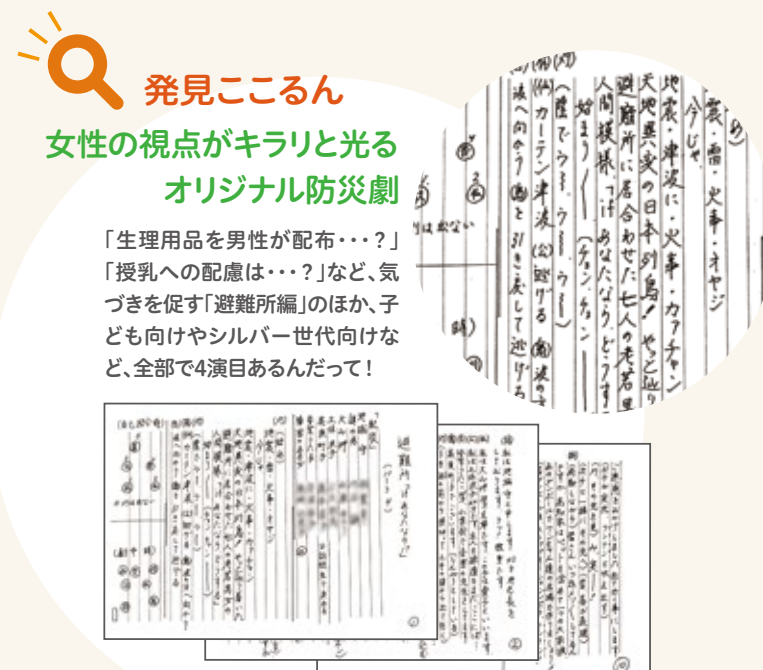
中高生、学校、行政とも協働

また、地域の防災力を高めていくため、近年私たちが力を入れているのが、中学生・高校生を防災活動に巻き込むことです。毎年9月に行われる安芸市総合防災訓練では、県立安芸中・高等学校の生徒に災害時に役立つロープワークや簡易トイレの組み立て、初期消火などの“先生”になってもらったり、市立安芸中学校の生徒に司会アナウンスをお願いしたりと、学校や行政と密に連携。活動を通じて、防災文化を次世代につないでいきたいと考えています。

災害時、命も人権も守れるように

これまで防災訓練においては、「炊き出しは女性」「消火活動は男性」といった無意識の思い込みがありました。しかし被災時、そんなことは通用しません。そこで私たちは、訓練では性別に関わりなく役割をあて、誰でも何でもできるよう備えています。他にも、隣近所で助け合う「おたすけ5人組」という避難支援のしくみづくりや、楽しみながら防災意識を高める「防災ビンゴ」の活用など、多様な角度から防災・減災に取り組んでいます。

その土台となるのは、やはり普段からの地域の“睦(むつみ)”。毎月15日を「声がけの日」として声をかけ合うなど、日頃から住民相互の理解やつながりを深めながら、いざという時に命と人権を守ることのできる地域づくりを進めています。



発見こころん
女性の視点がキラリと光る
オリジナル防災劇

「生理用品を男性が配布・・・？」
「授乳への配慮は・・・？」など、気づきを促す「避難所編」のほか、子ども向けやシルバー世代向けなど、全部で4演目あるんだって！

あなたの地域でもやってみて！ 川向地区防災会考案「防災ビンゴ」

地域の会合や会社の催事などにおすすめです。

★ 準備するもの

- A. 「縦横3列のマス目」と「持ち出し袋に入れる品物リスト」を印刷した紙 (参加人数分)
- B. 品物カード
- C. Bを入れる箱または袋
- D. 防災グッズ(景品)



50種類
程度が
おすすめ

★ 防災ビンゴ ★

救急品	タオル	家族連絡先
簡易トイレ	水	あめ
缶	生理用品	常備薬

持ち出し袋に入れる品物リスト

電池 軍手 生理用品 缶 手回し充電器 ラジオ カイロ 筆記用具 油性マジック 簡易トイレ 時計	通帳のコピー 家族連絡先 常備薬 ラップ お金(小銭) 水 ライター 救急用品 ガムテープ シート タオル	ビニール袋 アルミホイル ヘルメット ゴム手袋 懐中電灯 ロープ ナイフ類 パンダナ 歯ブラシ メモ帳類 写真(家族含)
--	---	--

★ 遊び方

- ① 「持ち出し袋に入れる品物」9つをリストから選び、自分のマス目を書く。
- ② 進行役は、箱から品物カードを1つずつ取り出し読み上げる。
- ③ 縦・横・斜め、どれでも2列そろったら勝ち！
1列そろえば「リーチ」、2列そろえば「ビンゴ」と叫ぶ。
- ④ ビンゴになれば、防災グッズをプレゼント！

平時も災害時も、大切なのは
相手を思いやり、支え合うことなんだね。
命と人権を守るための備えに
みんなで取り組んでいきたいね！



安芸市川向地区防災会

安芸市矢ノ丸3丁目と花園町、東浜の一部を含む川向地区は、南海トラフ地震における想定津波高3～10m、津波浸水予測時間30～40分のエリア。地域内での防災活動はもとより、依頼を受けて県内各地に出向き、啓発活動に取り組む。
連絡窓口：安芸市危機管理課(TEL:0887-37-9101/Email:kikikanri@city.aki.lg.jp)

「部落差別をなくする運動」強調旬間 7月10日(木)～7月20日(日)

第52回「部落差別をなくする運動」強調旬間啓発事業

主催：高知県・高知県教育委員会・(公財)高知県人権啓発センター

参加費無料 手話通訳あり
定員500名(申込不要)

2025年 7月16日(水) 13:30～15:30 ※開場13:00～

会場 高知県立県民文化ホール グリーン
高知市本町4丁目3-30 TEL 088-824-5321一緒に考えるということ
～「部落差別」と「多様性社会」について～

講師 三木 幸美 さん (公益財団法人とよなか国際交流協会 事業主任)



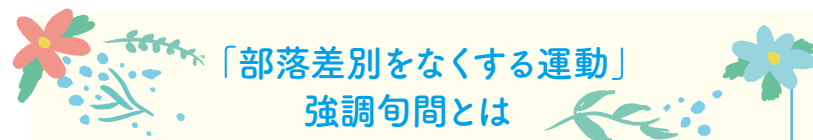
1991年大阪出身。フィリピンと日本の「ハーフ」として大阪の被差別部落で生まれ、無国籍・無国籍児から8歳で「日本人」となる。

学生時代に外国にルーツをもつ子ども・若者の支援活動をはじめ、子ども～社会人までを対象にしたダンス教室を10年間開講。2016年度より同協会職員となり、2024年度より現職。

講談社現代ビジネスでの執筆や講演、NHK・Eテレ『バリバラ』出演など多方面で発信を続けている。

清和女子中学・高等学校
ハンドベル部

「天使のハーモニー」と呼ばれる美しい音色を、県内唯一のハンドベル部の皆さんが披露してくださいます。

「部落差別をなくする運動」
強調旬間とは

高知県では、昭和44年7月10日に「同和対策事業特別措置法」が施行されたことにちなんで、7月10日から20日までを「部落差別をなくする運動」強調旬間と定め、部落差別のない社会の実現に向けて、同和問題に関する教育・啓発等の取組を進めています。

同和問題(部落差別)は、人間として幸せに生きる権利や自由(居住及び移転の自由、職業選択の自由、教育の機会均等を保障される権利、結婚の自由など)を、そこに生まれたというただそれだけの理由(本人には責任のないこと)によって侵害され、社会的不利益を受けてきた問題です。

近年、インターネット上で差別の助長につながる情報が公開されるといった事案も発生していることなどから、「部落差別の解消の推進に関する法律」が平成28年12月16日から施行されました。

同和問題を正しく理解し、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指しましょう。



8月3日(日) 14:00～16:00 ※受付13:30～



令和7年度 人権啓発研修 第1回ハートフルセミナー

参加費無料 定員120名 (先着順・予約優先)

映画「こどもかいぎ」上映会

会場 高知県立人権啓発センター 6階ホール

作品紹介 小さな賢者たちの 世界一おかしくて、世界一だいじな会議 はじめます！

「こどもかいぎ」とは、「子どもたちが輪になって、様々なトピックを自由に話し合う」こと。

映画『こどもかいぎ』は、子どもたちが「かいぎ」をする保育園を1年間に渡って撮影したドキュメンタリー。とある保育園で新たな取り組みとしてスタートした「こどもかいぎ」を中心に、子どもたちの日常を覗いた世界とは…。

子どもたちの「かいぎ」には、明確な答えも結論もありますが、全力で話し合い、遊び、泣き、笑い、成長する姿があります。正解のない現代社会で、人とのつながりや対話が一層重要になっている今、子どもたちの目線に立って世界を見ることは、「答えの無い世界で、私たちはどう生きていくのか」を考えるためのヒントがあふれています。

■企画・監督・撮影：豪田トモ(『うまれる』シリーズ) ■ナレーション：糸井重里
■2022年/ドキュメンタリー/88分/★日本語字幕付

専用申込フォーム



お申込み・お問合せは…

公益財団法人 高知県人権啓発センター 〈開所時間〉月～金 8:30～17:15 (祝日を除く)
TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440 Eメール center@kochi-jinken.or.jp

募集

令和7年度人権ふれあい支援事業について

高知県内のNPO、ボランティア団体及び民間団体の人権意識の向上を目的とした活動を支援します。

区分	支援金額・支援率
① 申請金額が5万円以下の事業	全額(支援対象外経費を除く)
② 申請金額が5万円を超える事業	支援対象経費の80%以内(上限20万円)

実施要領及び応募書類はホームページからダウンロードできます。詳細をご確認の上、申請書を郵送またはご持参ください。

【対象となる事業】講演会、研修会、映画上映会などの開催／啓発資料の作成／ふれあい交流活動の開催／人権啓発の「きっかけ」となる様々な体験活動の開催などの非営利事業。

【募集期間】5月30日(金)～6月30日(月)

【支援決定】審査会の審査を経て、7月中旬に通知します。

みなさまのご応募お待ちしております！

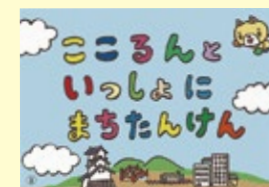
派遣
します人権研修のための
出前講座 (講師派遣料無料)

自治体や地域住民・企業・団体などが実施する様々な研修や学習の場に、講師を派遣しています。お気軽にご相談ください。

★ 令和6年度は182回の研修を行い、6,498人が受講しました。

貸出
します「こころん」の
着ぐるみ・紙芝居 (利用無料)

人権について楽しく学び、身近に考えてもらえることを願い、こころんの着ぐるみやオリジナル紙芝居とパペットのセット貸出しを行なっています。



オリジナル紙芝居+パペット



じんけんライブラリー

所蔵数(R6年度末現在)
■図書 9,551冊
■DVD 392本
■ビデオ 234本

「じんけんライブラリー検索」はこちら

所蔵図書・DVDの検索ができます。ぜひご利用ください。
<http://www.kochi-jinken.or.jp/lib/>

新着図書紹介

うちは「問題」のある家族でした
菊池 真理子 著(KADOKAWA)

反医療、きょうだい児、マルチ2世など、家族に問題を抱えた当事者たちに取材した社会派ノンフィクションコミック。家族だけの問題ではすまない社会問題について、どう向き合い、乗り越えてきたのか。読後の理解を深めたい1冊。



100年先の憲法へ

『虎に翼』が教えてくれたこと

太田 啓子 著 (太田次郎社エディタス)

NHKドラマ『虎に翼』を題材に、『これからの男の子たちへ』(大月書店)で知られる弁護士・太田啓子さんが憲法の基礎を紙上レクチャー。100年前の女性たちから現代に託されたメッセージとは？ジェンダー平等を阻害しない「これからの」男性像とは？

★太田啓子さんの講演会を、11月1日(土)に開催予定です

DVD貸出ランキング (令和6年度)

回数	タイトル	時間	制作年度
8	ハラスメントの裏に潜む無意識の偏見 アンコンシャス・バイアス	24分	2023年
7	STOP! DV 本当の自分をとりもどす 1巻 DV被害者にならないために	29分	2022年
	STOP! DV 本当の自分をとりもどす 2巻 DV加害者にならないために	27分	2022年
	言葉があるから……無自覚の差別「マイクロアグレッション」	31分	2023年
	これからの時代のハラスメント対応 第1巻:パワーハラスメントのグレーゾーンとカスタマーハラスメント	24分	2024年

DVD視聴者数ランキング (令和6年度)

タイトル	視聴者数	上映回数	時間	制作年度
イキイキ働くためのコミュニケーション・シリーズ 職場のコミュニケーション・スキル 第2巻アサーション	291	13	25分	2022年
水平社を立ちあげた人々-人間は尊敬すべきものだ (シリーズ映像でみる人権の歴史 第7巻)	268	8	17分	2020年
風の匂い	226	6	34分	2016年

令和7年度の人権啓発ポスターができました

人権は、一人ひとりが人間らしく生きていくために、生まれながらにして持っている大切な権利です。年間を通じて掲示していただける、親しみやすいポスターを作成しました。



★ ポスターの掲示や研修等で配布するなど、ご希望の方にはお送りいたします。

New! 「人権コラム集～心呼吸～」

令和6年度に高知新聞に掲載した「人権啓発シリーズ」(様々な人権に関するコラム)7回分と、「こころんだより」の特集記事を収録しています。ぜひご活用ください。



〈掲載内容〉

- ・無自覚な差別どうなくす? (上川 多美)
- ・男女の賃金格差に関心を (大崎 麻子)
- ・多様な性の一つとして (勝又 栄政)
- ・交差するまなざしの間で (戸田 ひかる)
- ・子どもの権利 具体的に (山崎 聡一郎)
- ・身寄りない人 支えるには (徳弘 博国)
- ・ネット上の誹謗中傷防ぐには (山口 真一)
- … など

ご利用案内

6F

ホール (収容人員 270名 机併用の場合は180名)

講演会、研修等のイベントにご利用ください。

利用時間 9:00～21:00 (年末年始を除く)

基本使用料(平日)			平日時間外	土・日・祝日
午 前	午 後	全 日		
9:00-12:00	13:00-17:00	9:00-17:00	1時間あたり	
8,650円	11,570円	18,210円	4,330円	

● 冷暖房使用料 … 1時間 / 620円 ● 準備・片付けも利用時間に含まれます。 ● Wi-Fiも利用できます。



6F ホール

5F

じんけんライブラリー (利用無料)

人権に関する図書、視聴覚教材、パネルの貸出を無料で行っています。

ホームページ内の「じんけんライブラリー検索」では人権課題別の検索もできます。

利用時間 月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00

利用方法 ● 初回ご利用の際に、利用カードを発行します。
● 直接ご来館できない場合は、送付もいたします。(送料は利用者負担)



	図書	ビデオ・DVD	パネル	団体図書
貸出限度	5冊以内	3本以内	3セット以内	50冊以内
貸出期間	2週間以内	2週間以内	1ヵ月以内	1ヵ月以内

団体図書貸出
について
(こころんブック便)

小・中学校、高等学校ほか、地域や団体、イベント開催などにあわせて、様々な人権問題についての図書の団体貸出を行っています。ご希望の図書について、お気軽にご相談ください。



4F

視聴覚室 (利用無料/収容人員 48名)

人権に関する研修等にのみ使用できます。

相談窓口

人権に関する相談窓口・支援機関等一覧はこちらから!



「こころん」は
高知県人権啓発センターの
マスコットキャラクターです
★着ぐるみの貸出もしています



公益財団法人

高知県人権啓発センター

ホームページ <https://www.kochi-jinken.or.jp>

Webで情報発信中!



【事務局】〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1番37号 高知県立人権啓発センター 5階
TEL : 088-821-4681 / FAX : 088-821-4440 / E-Mail : center@kochi-jinken.or.jp
〈開所時間〉月～金 8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)



●とさでん交通 バス・路面電車「高知城前」下車・徒歩3～5分